

**切除不能消化器・原発不明 NETG3 に対する薬物療法の治療成績に関する
多施設共同後ろ向き観察研究**

研究責任者名・所属:

津村英隆 兵庫県立がんセンター 消化器内科

この研究は、香川大学を主幹施設とする兵庫県立がんセンターを含む多施設共同研究として行います。

研究の目的:

切除不能消化器・原発不明神経内分泌腫瘍グレード3と診断され、薬物療法を施行された患者さんを対象とし、薬物療法の効果や経過について調査することで、どのような治療が行われてきたかについて検討します。

研究の方法:

○対象となる患者さん

切除不能消化器・原発不明神経内分泌腫瘍グレード3と診断され、薬物療法を実施した方で、2011年1月1日から2019年12月31日の間に、当院消化器内科及び下記研究組織に通院・入院された方

○利用する検体・診療情報

検体:腫瘍組織

診療情報:診断名、年齢、性別、身体所見、症状、薬物療法前の治療歴、検査結果(血液検査、画像検査)、腫瘍の状況(腫瘍量、病期、組織診断の結果)、診断方法、治療経過

外部への検体・診療情報の提供:

利用する当院所持の検体・診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送で下記の施設へ提供します。

国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科

外部からの検体・診療情報の提供:

利用する外部施設所持の診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送で下記の研究組織より香川大学へ提供されます。

研究組織:

日本肝胆膵がん関節研究検討部会参加施設

石川県立中央病院 辻 国広

大阪国際がんセンター 高田 良司

岡山大学病院 堀口 繁

香川大学医学部附属病院 奥山 浩之
神奈川県立がんセンター 小林 智
金沢大学附属病院 寺島 健志
がん研究会有明病院 古川 貴光
杏林大学医学部 岡野 尚弘
近畿大学 鎌田 研
国立がん研究センター中央病院 佐竹 智行
国立がん研究センター東病院 宮澤 祥一
国立国際医療研究センター病院 小島 康志
埼玉県立がんセンター 清水 怜
四国がんセンター 浅木 彰則
聖マリアンナ医科大学 梅本 久美子
千葉県がんセンター 辻本 彰子
兵庫県立がんセンター 津村 英隆
福島県立医科大学 浅間 宏之

研究代表者：

香川大学医学部附属病院 がんセンター 奥山浩之

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合、ご自身のデータ使用を望まれない場合、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

問い合わせ窓口：

兵庫県明石市北王子町 13-70
担当医師 消化器内科 津村英隆
電話 078-929-1151